

社会科学会議会長のクレイグ・カルホーン氏、LSE学長に就任へ（1月30日）

1999年以來、現在に至るまで社会科学研究会議（Social Science Research Council : SSRC）の会長を務めるクレイグ・カルホーン氏（Craig Calhoun）が、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（London School of Economics and Political Science : LSE）の新学長に2012年9月1日から就任することが決定した。カルホーン氏は著名な社会学者で、社会学を歴史、文化、コミュニケーション、政治、哲学、経済などに関連付けた学際的研究を行い、SSRCにおいては、社会科学の公衆との対話、大学と研究機関、リスクの民営化、災害と緊急事態、宗教と公的領域などに関する研究プロジェクトを立ち上げてきた。同氏は米国籍を持つが、修士号はマンチェスター大学（University of Manchester）、博士号はオックスフォード大学（Oxford University）より取得している。なお、SSRCは現在、カルホーン代表辞任後のSSRC会長を務める人物の推薦を募集している。

SSRC 代表の推薦募集に関する情報は、

<<http://www.ssrc.org/pages/job-description-president-ceo/>>から閲覧可能。

Social Science Research Council, *SSRC President Calhoun chosen as new director of London School of Economics*

<http://www.ssrc.org/pages/ssrc-president-calhoun-chosen-as-new-director-of-london-school-of-economics/>